

教育研究評議会要旨

| 日 時 | 場 所 | 欠 席 者 | 陪 席 者 |
|---------------------|---------|----------------------------------|--|
| 平成19年5月18日（金）13時30分 | 事務局大会議室 | 教育担当理事、 教育学部長、医学部長、 医学部評議員 | 常勤監事、 医学部副学部長、 アドミッションセンター副センター長 |

(はじめに)

議事に先立ち、学長から、医学部長及び医学部評議員が欠席のため、医学部副学部長を陪席させたい旨発言があり、了承された。

次いで、学長から、4月20日開催の教育研究評議会要旨の確認が行われ、了承された。

1. 審議事項

(1) プロジェクト研究に専任する教員の雇用制度の新設について（外部から招聘する任期付教員）

労務担当理事から、審議資料1に基づき、本学における研究の高度化・活性化を一層推進していくため、効果的に研究成果を挙げられるよう、主導的役割を果たす優秀な人材を外部から招聘できる制度を新設することについて説明があり、審議の結果、原案を了承した。

なお、評議員から、特任教授を学内から登用する場合の部局における後任ポストの取扱い等について意見があり、学長から、個々の事例に応じて制度を柔軟に運用したい旨発言があった。

(2) 香川大学安全衛生管理委員会規則の一部改正について

労務担当理事から、審議資料2に基づき、4月24日開催の安全衛生管理委員会において、本学の安全衛生管理体制を充実させるため、標記規則の一部改正案を作成した旨説明があり、審議の結果、原案を了承した。

2. 報告事項

(1) 機構会議の構成について

学長から、報告資料1に基づき、各機構会議を構成する委員について報告があった。

なお、学長から、連合法務研究科から推薦のあった図書館・情報機構会議及び産学官連携推進機構会議の委員については、連合法務研究科の事情を勘案し准教授とすることとした旨、併せて報告があった。

(2) 平成19年度在学学生数について

学長から、報告資料2に基づき、5月1日現在の在学学生数について報告があった。

(3) 平成19年度（第58回）四国地区大学総合体育大会の開催について

学長から、報告資料3に基づき、愛媛県内の各体育施設において開催される標記大会について報告があった。

(4) 平成19年度香川大学入学者選抜試験の分析結果について

学長から、標記試験の結果についてアドミッションセンターにおいて分析を行ったので、副センター長を陪席させ報告してもらいたい旨発言があった。

次いで、副センター長から、報告資料4及び参考資料に基づき、「学部別の受験生確保に関する課題と対策（試案）」及び「入試広報対策（試案）」、並びにそれらの根拠となる種々の分析結果について報告があった。

また、学長から、各部局に対して、同センターによる分析結果を具体的に今後の取組

に活用するとともに、同センターから入試施策に係る依頼があれば協力してほしい旨要請があった。

(5) 平成20年度香川大学医学部看護学科第3年次編入学学生募集について
学長から、報告資料5に基づき、標記学生募集について報告があった。

(6) 平成19年度法科大学院適性試験の実施について

学長から、6月24日に本学において、大学入試センターと本学が協力し、標記試験を実施する旨報告があった。

(7) 学術交流協定の更新について

学術担当理事から、報告資料6に基づき、香川大学農学部及び大学院農学研究科とカセサート大学水産学部及び大学院水産学研究科との学術交流協定に関する実施細則の更新に当たり、香川大学における学術国際交流協定に関する取扱い方針に基づき、交流実績等の点検・評価を行い、4月13日開催の学術国際交流委員会において実施細則の更新が認められた旨報告があった。

(8) 「香川大学安全衛生に関する基本方針」の制定、「国立大学法人香川大学安全衛生管理規則」の一部改正、及び「平成19年度香川大学安全衛生年度計画」について

労務担当理事から、報告資料7-1及び参考資料に基づき、平成18年4月1日付けの労働安全衛生法の改正に伴い、大学として安全衛生に関する方針を表明するため、標記方針を制定した旨報告があった。

次いで、同理事から、報告資料7-2に基づき、標記方針を制定したことに伴い、4月24日開催の安全衛生管理委員会において標記規則の一部改正案を作成し、4月26日開催の役員会においてこれを承認した旨報告があった。

また、同理事から、報告資料7-3及び7-4に基づき、4月24日開催の安全衛生管理委員会において作成した平成19年度の重点取組事項等及び安全衛生年度計画について報告があった。

(9) 平成20年度概算要求について

総務・財務担当理事から、参考資料1-1及び1-2に基づき、4月13日付けで文部科学省より平成20年度国立大学法人運営費交付金及び施設整備事業の概算要求に向けたスケジュール等について通知があったこと、及びその内容について報告があった。

次いで、同理事から、報告資料8に基づき、部局等から要求の出された事業を選定するにあたり、平成20年度概算要求の基本的考え方を4月26日開催の役員会において策定した旨報告があった。

次いで、同理事から、参考資料2に基づき、部局等から要求があった概算要求事項について報告があった。

(10) 個人情報の紛失について

労務担当理事から、5月15日に本学教育学部附属特別支援学校において発生した標記のことについて、事件の概要、本学の対応等の報告があった。

また、教育学部評議員から陳謝があり、教育学部における対応について報告があった。

3. その他

(1) 平成19年度地域イノベーション創出総合支援事業「シーズ発掘試験」の採択予定について

連携・評価担当理事から、独立行政法人科学技術振興機構が行う標記事業について、5月15日に開催されたJSTサテライト高知運営委員会における報告によると、香川県（本学含む。）からの応募98件のうち16件が採択予定であるが、四国の他県に比べると香川県は応募件数が少ないので、積極的に申請してほしい旨発言があった。

(2) 「各省の科学技術に関する制度の概要」の配布について

連携・評価担当理事から、標記資料は、科学技術に関する制度で地方に関係が深いと

思われる施策を、四国経済産業局外 6 機関が協力してとりまとめたものであるが、これを各部局に配布するので、競争的資金獲得のための取組に役立ててほしい旨発言があった。

閉会 15時30分